

Nipponham Group Integrated Report 2025

統合報告書2025 ダイジェスト



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030

- 92ページの統合報告書の中からニッポンハムグループの価値創造プロセスに繋がる要点のみをピックアップしました。
- より詳細をご覧になりたい方は、統合報告書2025をご覧ください。

価値創造プロセス

変革を加速し、たんぱく質の価値を共に創る企業へ

保有資本	事業基盤	全社戦略	創出する価値・長期ビジョン						
財務資本 ● 総資産/総負債 ● 総資産/総負債 ● 総資産/総負債	たんぱく質の価値を創るバリューチェーンと共創 (P.29)  共創 (外部研究機関・外部事業会社・官公庁など) の推進 各セグメントの目指す姿 (P.43~) <table border="1"> <tr> <th>加工事業本部</th> <th>食肉事業本部</th> <th>ボールパーク事業</th> </tr> <tr> <td>構造改革のさらなる推進で 粗利益率を改善し、 成長戦略につながる組織へ</td> <td>外部環境の変化に打ち勝つ 組織に再編し、 バリューチェーン利益を最大化</td> <td>成長戦略の柱として 「脱炭素」「脱光地化」を深化させ、 エンタメ事業として発展</td> </tr> </table> コーポレート・ガバナンス 外部環境 ● 世界人口の増加に伴う食肉消費量拡大 ● 長引く円安の進行 ● 新たなたんぱく質市場の隆盛 ● 日本の人口減少・高齢化 ● Food Techの進化 ● サステナブル意識の高まり ● 畜産での温室効果ガス排出抑制への期待	加工事業本部	食肉事業本部	ボールパーク事業	構造改革のさらなる推進で 粗利益率を改善し、 成長戦略につながる組織へ	外部環境の変化に打ち勝つ 組織に再編し、 バリューチェーン利益を最大化	成長戦略の柱として 「脱炭素」「脱光地化」を深化させ、 エンタメ事業として発展	変革と挑戦を推進する「中期経営計画2026」 (P.34~) ビジネスモデル変革に向け取り組む3つのテーマ  サステナビリティ戦略 財務戦略 R&D戦略 事業戦略 VBM (価値創造計画) マテリアリティ (P.57~) ● たんぱく質の安定供給・供給 ● 食を通じた豊かな生活への貢献 ● 持続可能な地球環境への貢献 ● 新たな価値の創出 ● 挑戦する組織風土の醸成	身体に不可欠な「たんぱく質」の安定供給 地域社会との共創共生 人的資本の拡充 株主資本の維持・拡大 人々の楽しく、豊かに暮らしに貢献 Vision2030 たんぱく質を、もっと自由に。
加工事業本部	食肉事業本部	ボールパーク事業							
構造改革のさらなる推進で 粗利益率を改善し、 成長戦略につながる組織へ	外部環境の変化に打ち勝つ 組織に再編し、 バリューチェーン利益を最大化	成長戦略の柱として 「脱炭素」「脱光地化」を深化させ、 エンタメ事業として発展							

Chapter 2 価値創造の戦略と事業

目次へ

※1: 2025年3月期実績 ※2: 中期経営計画2026策定時計画

27

28

2025年版レポートの主な改善点

2024年版レポートの課題

中長期視点からの価値創造や「あるべき姿」、
これらを実現するための施策・目標などの具体的報告が不足。

2025年版レポートの改善点

中長期の企業の「あるべき姿」、価値創造を実現するための
VBM（価値創造経営）、新たなR&D戦略などの
中長期の成長に向けた**新たな成長ステージを歩みはじめた**
ニッポンハムグループの価値創造の戦略・施策を訴求する内容に改変。

バリューチェーンの価値最大化や成長ストーリーを解説する
「副社長メッセージ」を新たに開示。

2024



2025



成長ストーリー



2025年版レポートの主な改善点（つづき）

- 「特集」記事を設け、中長期の成長に繋がる「新たなR&D戦略」と「共創の進捗・新たな共創」について紹介

新たなR&D戦略の策定



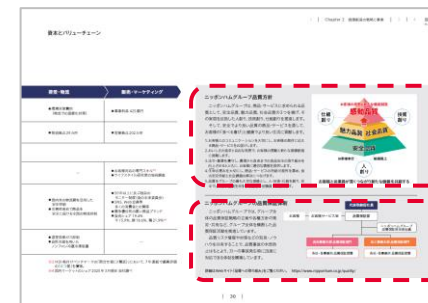
共創の進化と深化



- 食品会社として重要な資本でもある「品質保証」に関する方針や体制を「資本とバリューチェーン」に追加

品質方針

品質保証体制



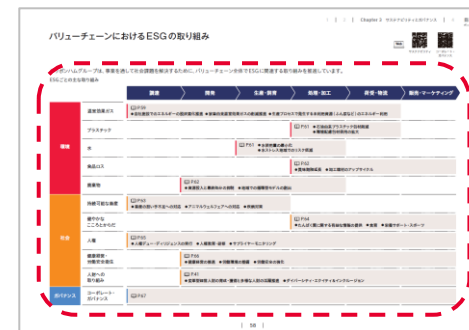
- 長期的視点で「価値」を判断軸とする経営に向けた考え方や施策を解説する「VBM推進役員メッセージ」を新たに開示

価値創造の見える化



2025年版レポートの主な改善点（つづき）

- バリューチェーン全体でのESG取り組みを一望できるマップを掲載、事業を通じた社会課題解決の全体像をわかりやすく開示



バリューチェーンとESG取り組みの関連

- コーポレート・ガバナンスの強化・改善を目指して、新メンバーを迎えての「社外取締役座談会」を開催・開示
取締役会議長である会長も参加し、持続的な企業価値向上に関する意見を交換



新社外取締役を迎えた企業価値向上への提言

※次ページ以降では、主要コンテンツの概要・報告ポイントをご紹介します。

概要

Chapter 1

変革する ニッポンハムグループ



“企業成長に向けて
挑戦を先導し続ける”



“バリューチェーンの
価値を
最大化させる”

Chapter 2

価値創造の戦略と事業



“長期的価値創造を
支援・実行する”



“アグレッシブな
組織風土を
取り戻す”

Chapter 3

サステナビリティと ガバナンス



取締役会議長

“企業としての持続可能性を高めていく”

社外取締役

“経営の監督という責務を果たし、
培った知見の提供で企業価値向上に貢献”

Chapter 4

企業データ



冒頭に、さらなる成長へ向け
突き進む経営の決意を表明

コミットメントの内容

- グループ一体となって
価値創造に突き進む
- 長期視点から
持続可能な成長を目指す
- さらなる変革と挑戦を
実践し続ける



変革するニッポンハムグループ

[詳細を
見る](#)[P.7 ~ 社長メッセージ](#)

新たな成長ステージを歩み始めた
ニッポンハムグループは
さらなる企業価値向上を目指します

ポイント

- 全社戦略は順調な滑り出したが、課題も顕在化
- 課題解決に向けた新たなKPIを設定
- 5つの事業の柱で安定した事業基盤を構築
- 非連続の成長に向けた「挑戦」をより強化
- 次世代を担う「変革型経営人財」の育成・獲得に注力

変革するニッポンハムグループ

[詳細を
見る](#)[P.19 ~ 副社長メッセージ](#)

ポートフォリオの質を高める事業基盤へ ニッポンハムグループを変革します

ポイント

- ☞ 全社視点でのバリューチェーン価値最大化
- ☞ R&D戦略を軸とした新規事業の創造
- ☞ 中長期視点での成長ストーリー
- ☞ 事業基盤の変革に向けたDX活用

FEATURE

新たなR&D戦略の策定

たんぱく質の新たな価値と未来に向けて
ニッポンハムグループ独自のR&D戦略を策定

未来をつくるR&D戦略と
共創の進展を特集として紹介

ポイント

- 👉 R&D戦略：プロテインノベーション策定
- 👉 たんぱく質の可能性を探求する実例
- 👉 アジアでも共創プロジェクトを始動
- 👉 JAとの共創のこれからを展望

「品質保証」について、クローズアップして詳述

30

ニッポングループでは、グループ全体の品質保証戦略の立案や各種方針の策定・共有など、グループ全体を横断した品質保証活動を推進しています。

お客様 → お客様サービス室 → **品質保証部**

品質保証部は、品質保証の推進を目的として、各事業本部・品質保証部門、各社・各事業部・品質保証部門、各社・各事業部・品質保証部門と連携して、品質保証活動を推進しています。

品質保証部は、品質保証の推進を目的として、各事業本部・品質保証部門、各社・各事業部・品質保証部門、各社・各事業部・品質保証部門と連携して、品質保証活動を推進しています。

詳細はWebサイト「品質への取り組み」をご覧ください。 <https://www.nipponham.co.jp/quality>

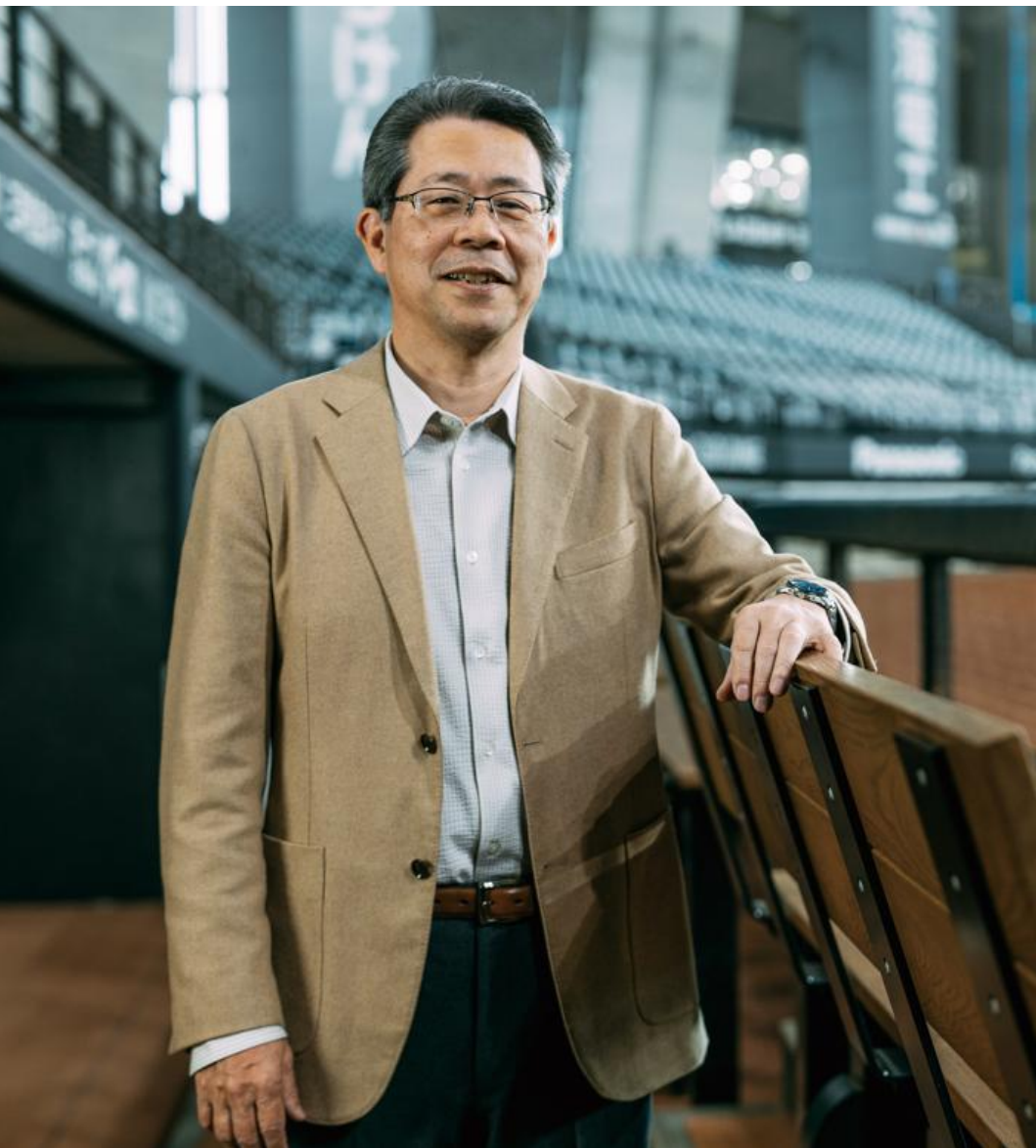


長期的視点で「価値」を判断軸とする経営へ

ポイント

- ❏ 視座・視野・視点の三つの点から財務システムを変革
- ❏ 「利益」から「価値」への視座シフト
- ❏ 「個別最適」から「全体最適」への視野シフト
- ❏ 「短期」から「長期」への視点シフト





全社の変革に向けて 挑戦する人、組織へ

ポイント

- ❏ 挑戦する組織風土醸成を目指す
人財戦略の全体像
- ❏ グローバル事業拡大のための海外人財
の確保・育成
- ❏ 女性活躍推進と男女間賃金差の改善
- ❏ 人財KPIによる個と組織の成長



環境保全に向けた中長期環境目標の説明

サステナビリティとガバナンス



P.67 ～ コーポレート・ガバナンス



コーポレート・ガバナンスを紹介

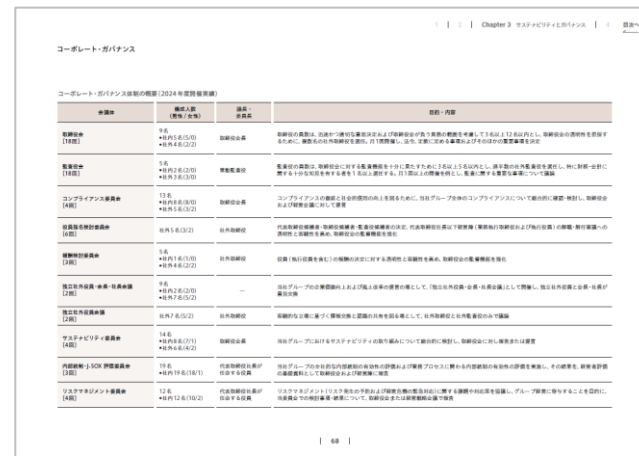
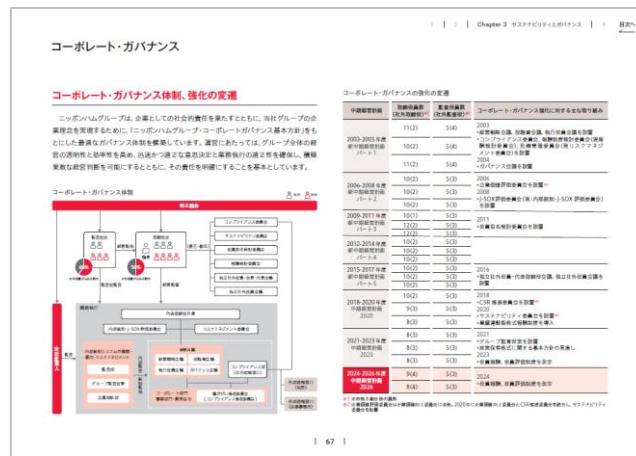
ポイント

コーポレート・ガバナンス強化の変遷

コーポレート・ガバナンス体制の概要

■各種会議体の目的・内容、開催数、参加者などを開示

取締役、監査役、執行役員といった 役員を一覧



サステナビリティとガバナンス

詳細を
見る



P.71 ~

取締役会議長・社外取締役による座談会



Q3. 経営の課題と今後の展望について、どのようにお考えですか。

水原 経営課題として、食料の安定供給という社会的存在意義を認識し、「変革と挑戦」による持続的な企業価値向上を目指します。食料の安定供給は、食料の安定供給という社会的存在意義を認識し、「変革と挑戦」による持続的な企業価値向上を目指します。食料の安定供給は、食料の安定供給という社会的存在意義を認識し、「変革と挑戦」による持続的な企業価値向上を目指します。

Q4. 変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。

河野 変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。

取締役会議長・社外取締役による座談会

Q1. 中長期経営計画2026の進捗状況と、どのような成果を挙げましたか。

水原 2024年度は重要課題の進捗状況と、どのような成果を挙げましたか。2024年度は重要課題の進捗状況と、どのような成果を挙げましたか。2024年度は重要課題の進捗状況と、どのような成果を挙げましたか。



Q2. 2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。

水原 2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。



河野 2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。

Q3. 経営の課題と今後の展望について、どのようにお考えですか。

水原 経営課題として、食料の安定供給という社会的存在意義を認識し、「変革と挑戦」による持続的な企業価値向上を目指します。食料の安定供給は、食料の安定供給という社会的存在意義を認識し、「変革と挑戦」による持続的な企業価値向上を目指します。

Q4. 変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。

河野 変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。変革と挑戦の具体的な内容について、どのようにお考えですか。



水原 2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。2024年度の取締役会において、どのような成果を挙げましたか。

Q5. 企業価値向上に向けた取り組みについて、どのようにお考えですか。

水原 企業価値向上に向けた取り組みについて、どのようにお考えですか。企業価値向上に向けた取り組みについて、どのようにお考えですか。企業価値向上に向けた取り組みについて、どのようにお考えですか。

持続的な価値向上に向けた課題とやるべきことを提言

ポイント

- 「変革」と「挑戦」に向け動いている現状の評価と課題感

取締役会での注力ポイント

- 社外取締役として自身が果たす役割、今後の展望

サステナビリティとガバナンス

[illegible]

Chapter 3 サステナブルな企業活動

コーポレート・ガバナンス

取締役会の実効性評価

当社は、当社の取締役会の知見や運営に関する情報を開示し、取締役会の実効性や実働性を評価することを目的とするとともに、フィードバック・プラットフォーム「ガバナンス」を基盤としたアンケートに基づき、2024年度末に取締役会の実効性について外部で評価を行っています。

評価プロセス

2024年度の調査は、すべての取締役・監査役に対するアンケートの形式で実施しました。なお、当委員の所属的な役割を区分けした上で、当委員の役割を踏まえたため、アンケートの回答は所属別に集計して第三者による評価機関へ提供される形式としました。

アンケートにより得られた結果は第三者の評価機関へ提供された上で、当委員の所属別に集計された結果、評価およびフィードバックを基盤として、2025年4月6日に取締役会の報告にて報告を予定しています。当社取締役会の活動および、取締役会の実効性や今後の取締役会に関する取り組みについて確認しました。

取り組み の概要

- ・取締役会運営に関する取締役会事務局の取組内容を公表する
- ・業績・ESGに関する、10年連続表彰から1年連続表彰へ減点となるなど改善する
- ・取締役会実働性に関する第三者による評価のアンケートを実施し、結果に基づき、取締役会を改善する

(1) 取締役会の実効性

取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

① 取締役会の実効性

取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

② 取締役会の実効性

取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

③ 取締役会の実効性

取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

④ 取締役会の実効性

取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

2024年度の 取り組みの 概要

取締役会の 実効性

- ・取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。
- ・取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。
- ・取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

今後の 取り組み

- ・取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。
- ・取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。
- ・取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

取締役会実働性に関する第三者による評価、取締役会の実効性に関するアンケートを実施し、結果に基づき、取締役会を改善する

業績・ESGに関する、10年連続表彰から1年連続表彰へ減点となるなど改善する

取締役会実働性に関する第三者による評価のアンケートを実施し、結果に基づき、取締役会を改善する

取締役会が中長期的な企業戦略の実行に貢献し、当社取締役会が、取締役の多様性・専門性・独立性を踏まえた上で、取締役会の実効性を向上させることを目指しています。

79

[illegible][illegible]

詳細を見る 



P.75 ～ 取締役の選任理由・活動状況/
実効性評価/役員報酬

コーポレート・ガバナンスを紹介

ポイント

取締役の選任理由、取締役の スキルマトリクスの開示

取締役会の実効性評価、役員報酬、
政策保有株式の縮減の解説

👉 **コンプライアンス、リスクマネジメント、
情報セキュリティの強化**

私たちはこれからも 挑戦し続けて いきます

